（ 様式D－２ ）
（ 別　　紙 ）

令和７年度　海外派遣研究員研究報告書〔研究実績〕

令和　7 年　10 月　30 日

日本大学理事長　殿
日本大学学長　　殿

所　　属　　生産工学部（生産工学研究所）
資格・氏名　　教授・渡邉康

令和７年度海外派遣研究員（　短期Ａ　）の研究実績を，下記のとおり報告いたします。

記

１　区分　　短期Ａ
２　研究課題

イタリアにおける集落再生に関する研究

３　派遣期間　　西暦　　2025 年 6 月　19 日～　2025 年　9 月　11 日
４　派遣先　　イタリア

５　研究目的

イタリアの高齢化率は日本についで世界第２位であり、国土の８割が山間地で南北に長く海に囲われているなど共通点が多い。その中で山間地の集落が高齢化し過疎化する対策として分散型ホテル(Albergo Diffuso、以下 Adi と表記)が 100 前後の集落で行われている。2006 年には分散型ホテル協会もでき、自治体や政府にも協力を求めている。2014 年より 4 回、16 箇所の集落に現地調査に行ったが、未だ北部とシチリア島にもには行けずにおり、中部にも行っていないところが多い。そこで、その中間地点であるフィレンツェとミラノに拠点を作り、イタリアの歴史・文化・環境を調べるとともにそこから移動して各地の Adi の調査を行う。

近年日本の地方でも同様に高齢化し過疎化する集落が多く、その対策として分散型ホテルが参照され地域に広がった宿泊施設の試みが増えている。しかし、ネットワークの作り方、古いものの生かし方、その運営の仕方による旅行者の体験の内容は、成功しているとは言い難い取り組みも多く見られる。イタリアの Adi における集落の状況と体験の内容の多様性を調査することは、日本の同様の取り組みにおいても検討・評価する一助になると考える。

６　研究概要

１　研究の方法

Adi は過疎地である山間地域の小さな集落に多くあり、分散型ホテルと訳されるように客室と施設は空家を利用するため集落内の配置は分散していることが一般の宿泊施設とは異なる特徴である。現地で配置を見ると棟は分かれていても、集落の端にまとまっているものや、２～３棟にまとまるもの、細かく部屋単位で住人の住宅の間に分散するものなどもあり、各 Adi で分散状況（分散の仕方）は異なっている。また、Adi の理念である体験の内容も環境や集落の状況、運営者の考えなどから、理念に沿うものや従来のホテルに近いものなど各 Adi において様々である。そこで本研究では、集落における Adi 施設の分散する配置状況に着目し、そこで旅行者が体験する内容との関係を明らかにすることを目的とする。しかし高低差のある密集した集落の場合は地図やネットでの調査では分からない。そのため、現地に行き高低差を把握しながら道や配置状況を調査し、運営者にインタビューする必要がある。

（ 様式D－２ ）

2　渡航先での活動内容

過去の調査で行けなかった、南部のシチリア州と北部のフリウリ州を中心に現地調査を行う。調査したAdiは下記の通りである。

シチリア州

・サンタンジェロ・ムクサーロ　Val di Kam
・シクリ街　Scicli Albergo Diffuso
・ラグーサ　Iblaresort

フリウリ州

・フォルガーリア村
・モンテプラット村　　Albergo Diffuso Forgaria Monte Prat
・コメリアン村
・ラヴァスクレット村
・チゥリアス村　　COMEGLIANS

特にフリウリ州はAdiが生まれる原因となった1976年の震災の復興が行われたところでもあり、Venzoneの震災資料館などでその詳細も調べた。

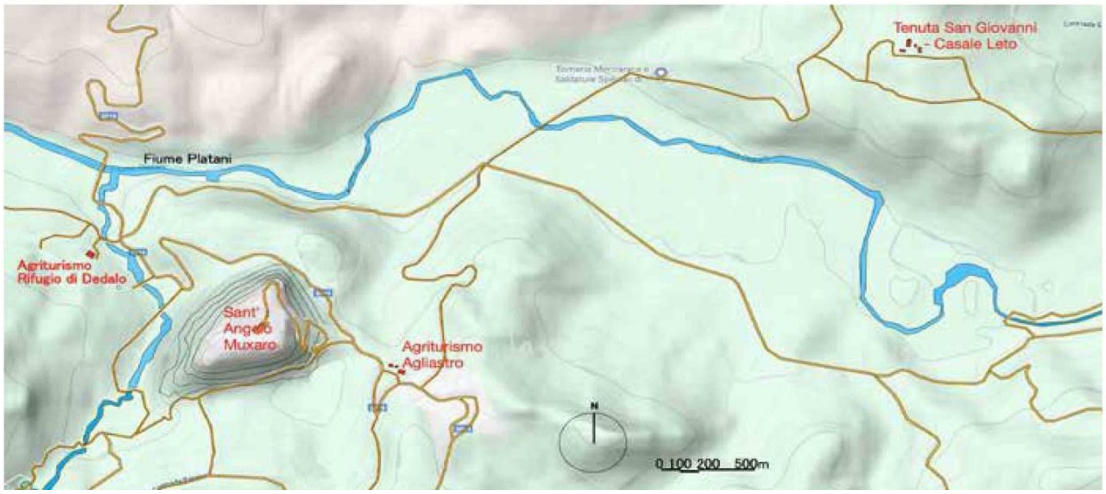
その他に同様の取り組みをしていると聞いた、サンジミニャーノやモンテロッソも訪ね、街並みの中での宿泊施設の状況や歴史博物館で歴史や文化・産業を調べた。

調査の拠点としたラツィオ州のローマ、トスカーナ州のフィレンツェ、ロンバルディア州のミラノでは、調査の下調べで地図を収集し制作したり、Adiの取り組みの下地となる過去の地図や建物・街並みの状況、歴史、文化・産業について調べ、資料を収集するためにミュージアム（博物館・図書館・美術資料館　等）を訪ねた。

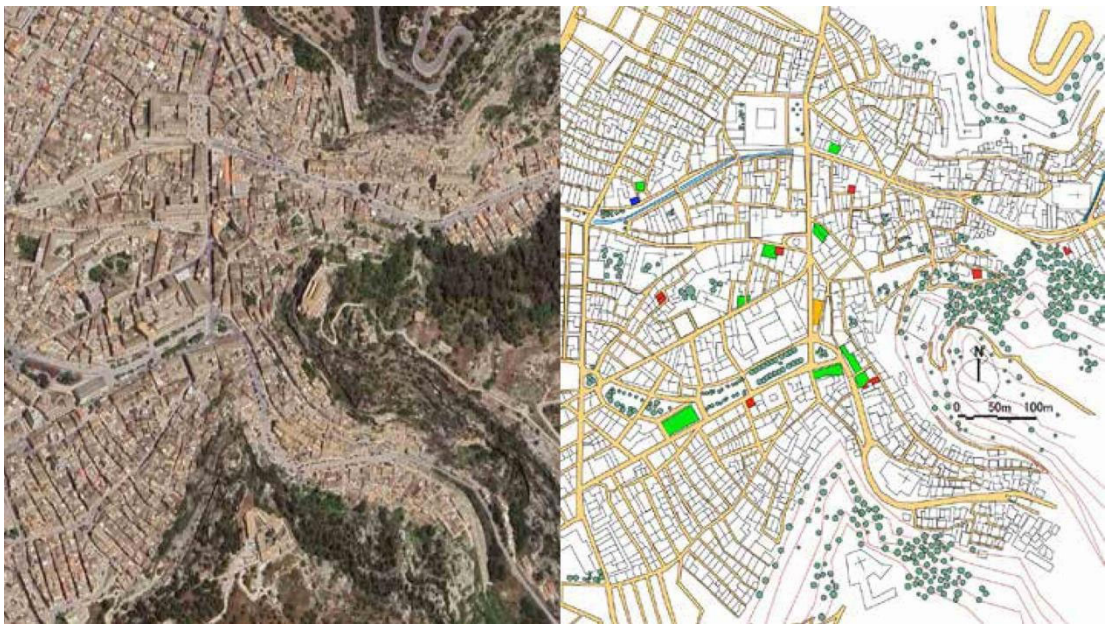
7　研究結果・成果



サンタンジェロムクサーロの台地の集落内にゲストハウス３棟、台地の周囲にも扱うゲストハウスが３箇所ある。

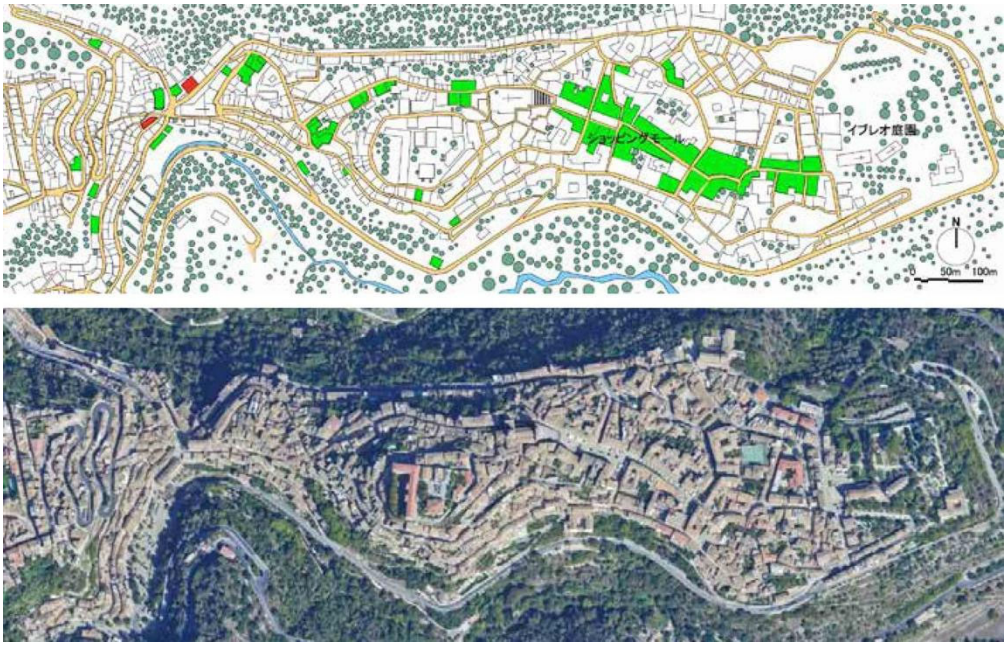


▲Val di Kam/ Sant’Angero Muxaro（作図：渡邉康）

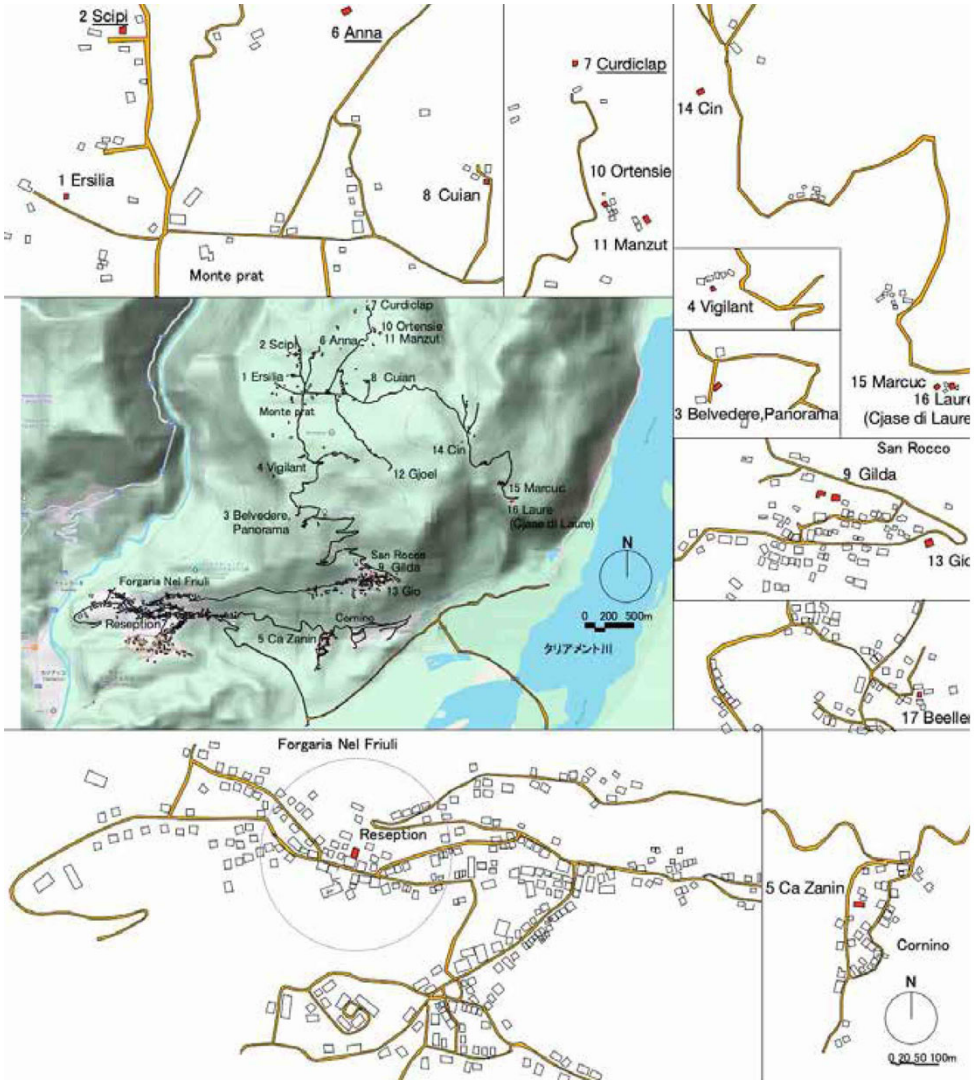


▲Scicli Albergo Diffuso/Scicli（作図：渡邉康）

（ 様式D－２ ）

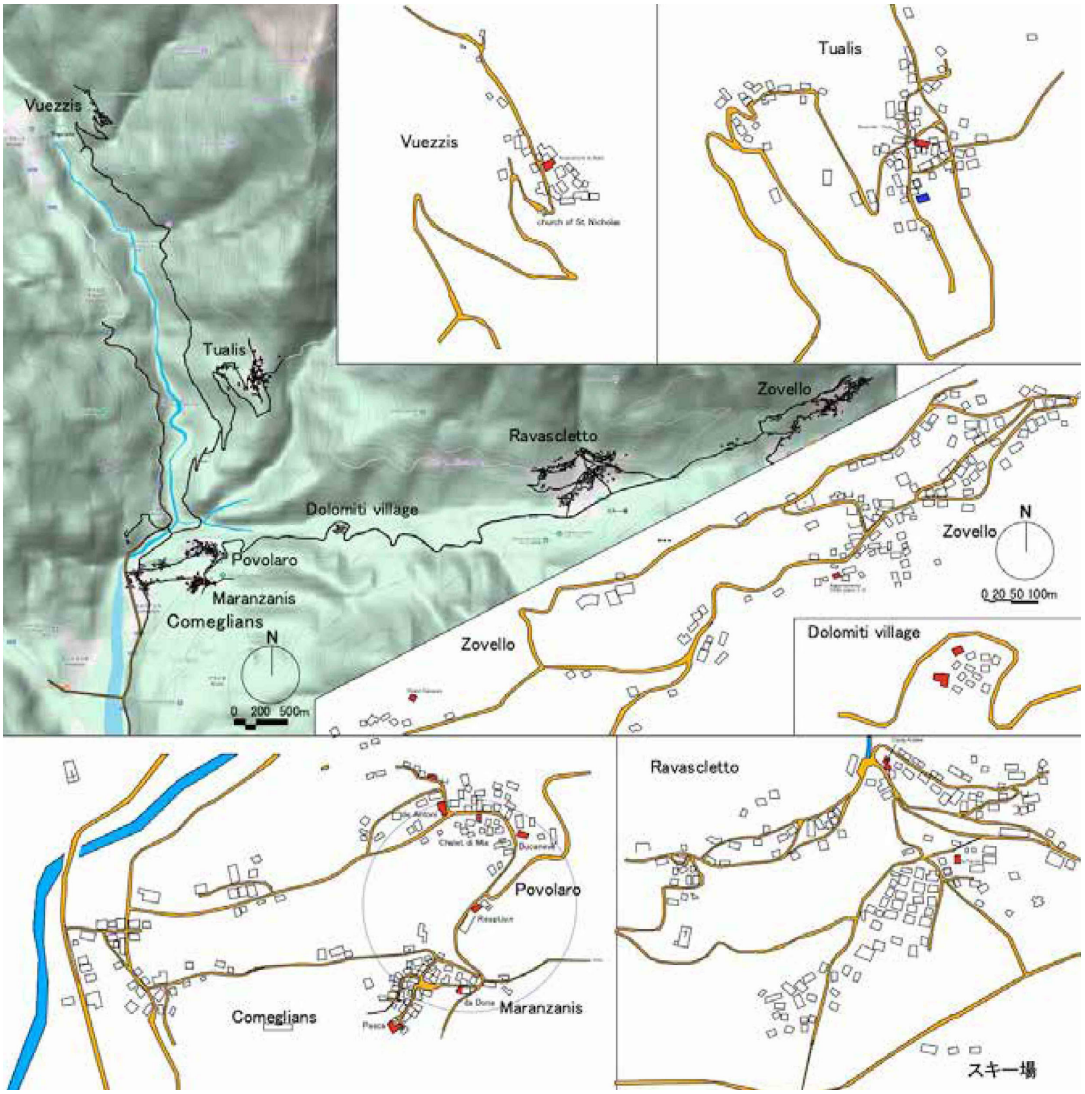


▲Iblaresort/Ragusa　▼Fargaria .Monte prat（作図：渡邉康）



（ 様式D－２ ）

〔７　研究結果・成果（つづき）〕　▼Comeglians. Ravascletto, Tualis（作図：渡邉康）

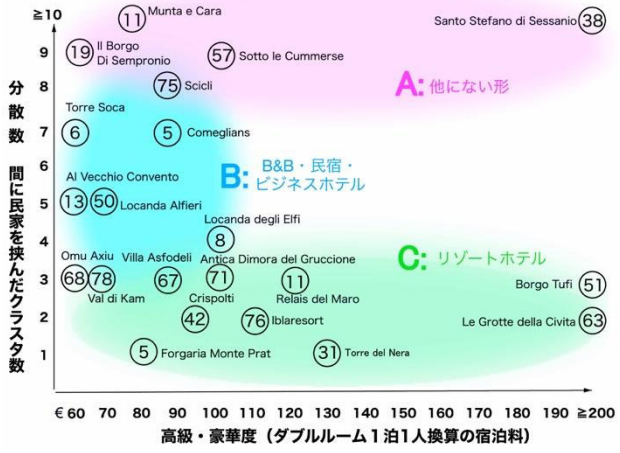


以上の Adi とこれまでに調査した Adi の分散数（一般の住人住戸が間にあり分散したクラスターの数）を宿泊料とで図にすると右図になり、３つのグループの傾向がみられる。

右図の C ：分散数が少なく施設がまとまるものは清掃・リネン交換・ゴミ回収の運営・管理が効率良く、内部にレストランやスパ・プール等を持ちリゾートホテルやオーベルジュに近くゲストは集落に出る機会が少なくなる。

右図の B ：分散数が少なく B＆B や民宿から発展したものが多く客室はコンパクトで安い。

右図の A ：分散数が８以上の Adi は運営・管理は人力で行うしかなく周囲の住人の理解がないと成立しない。採算よりも集落を維持したい思いから始められた Adi が多い。ゲストは用事がある度に路地を何度も行き来し住人とも顔を合わせ挨拶する他にない体験をする。これまで観光資源が無く環境が険しくリゾート施設も作れずに旅行者を呼ぶことが出来なかったところに、Adi は新たな価値を掘り起こしていると言える。



以　上